



ほうかつだより

回
覧

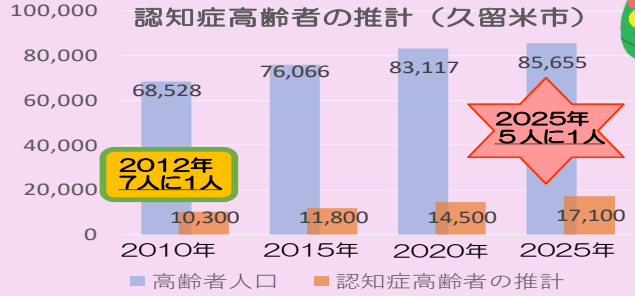
認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して

ご存じですか？

9月21日は世界
アルツハイマーデー

現在久留米市の高齢者人口は約8万3千人（令和2年7月1日現在）、**認知症高齢者の推計値は約1万5千人**とされています。

急速な高齢化とともに、認知症は誰もが関わりうる身近なものとなっています。認知症の進行を遅らせたり、症状を軽減するためには**早めに気づき対応することが重要**です。



「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授）による測定値の全国の認知症有病率を基に久留米市を推計。

周りに認知症かな？と気になる方がいたら、かかりつけ医や地域包括支援センターなどに相談しましょう！

認知症早期発見の目安

『ものわすれチェック』

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探しものをしている | <input type="checkbox"/> 下着を替えずに身だしなみを構わなくなった |
| <input type="checkbox"/> 慣れた道でも迷うことがある | <input type="checkbox"/> 些細なことで怒りっぽくなった |
| <input type="checkbox"/> 「頭が変になった」と本人が訴える | <input type="checkbox"/> 新しいことが覚えられない |

※あくまで気づくためのポイントで医学的な診断基準ではありません。久留米市認知症支援ガイドブックから引用

「早期受診」のメリット

- ① 早めに受診しましょう。症状から認知症と間違われやすい病気もあります。実は認知症ではなく「軽度認知障害」や「治る病気」の可能性もあります。
- ② 正確な診断のもとで本人に合った薬が処方されるため、認知症の進行を遅らせることができます。
- ③ 本人が判断できる初期のうち本人の気持ちに沿って、今後の生活について考えることができます。

※前掲ガイドブックP21～30には認知症に関する相談ができる医療機関を掲載しています。

地域包括支援センターにご相談を頂くと

相談内容に応じて、受診のための支援や、各種サービス・事業への紹介、地域の情報などをお伝えします。

1. 介護保険サービスや介護予防事業
 - ・ デイサービス、デイケア
 - ・ 認知症予防のための運動教室 など
2. その他、市が主催する事業
 - ・ 認知症カフェ、介護経験者とお話する事業
 - ・ 認知症について学べる事業 など
3. 地域の身近な集まり
 - ・ ふれあいサロン
 - ・ 自主グループ など

久留米市認知症支援ガイドブック概要版から引用

地域包括支援センターは、地域の皆様や関係機関との協働による高齢者支援や専門的な地域課題を解決するためのネットワークづくりを目指します。

次回、11月号では一般介護予防事業に関する内容についてお伝えします。

